

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史

科目： 世界史探究

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 実教出版 『世界史探究』 ）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 諸資料から歴史的な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意義や特色を、時期や年代など相互の関連や現在とのつながりなどを考察し説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会実現への課題を主体的に追究・解決する態度を養い、我が国への愛情や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の変化に関わる諸事象について、グローバルな視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	諸地域 ¹ の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連を歴史的なものの見方・考え方に基 ² づいて思考し、複数の根拠を基に判断・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連を社会・文化に関する問いを主体的に追究する。	世界史へのまなざし ³ 1. 地球の誕生と生命の進化 2. 日常生活からみる世界史—通信とコミュニケーション 第1章 古代文明 ⁴ 1. 農耕と牧畜のはじまり 2. オリエント文明 ⁵ 3. インダス文明 ⁶ 4. 中国文明 ⁷ 第2章 東アジアと中央ユーラシア ⁸ 1. 春秋・戦国時代の変動 2. 中国古代帝国と東アジア ⁹ 3. 中央ユーラシアの国家形成 ¹⁰ 4. 胡漢融合帝国の誕生 ¹¹ 第3章 南アジアと東南アジア ¹² 1. インド古典文化の形成 ¹³ 2. 古代の東南アジアと海のシルクロード ¹⁴	【知識・技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		○	○	8	
	西アジアと地中海周辺 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象に着目し国際関係、また両地域における社会・文化に関する問いを主体的に追究する。	第4章 西アジアと地中海周辺 1. オリエントの統一 2. ギリシア文明 3. ヘレニズム時代 4. ローマ帝国 5. 西アジアの国々と諸宗教 第5章 西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成 1. ビザンツ帝国とギリシア正教圏 2. ラテン=カトリック圏の形成と展開 3. イスラーム圏の成立 第2部 諸地域の交流と再編 諸地域の交流と再編への問い	【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。		○	○	8	
	定期考査				○	○		1
	諸地域 ¹ の交流と再編への問い ² 【知識及び技能】 1. 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第6章 イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容 1. イスラーム圏の多極化と展開 2. ラテン=カトリック圏の拡大 3. ラテン=カトリック圏の動揺と秩序の変容 第7章 中央ユーラシアと諸地域の交流・再編 1. 中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 2. モンゴル帝国の成立 3. 東南アジア諸国の再編 4. 海域世界の展開と大交易圏の成立 第8章 大交易時代 1. 明と東アジア 2. ヨーロッパの海外進出 3. 大交易時代の海域アジア	【知識・技能】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用して、諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料から、情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	○	○	○	8	
	定期考査				○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
2 学 期	アジア諸地域の帝国 【知識及び技能】 西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 近世のアジア諸地域の特質について、主体的に追究、解決しようとする態度を養い、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	第9章 アジア諸地域の帝国 1. 中央ユーラシアと西アジアの帝国 2. 南アジアの帝国 3. 東南アジア諸国の発展 4. 清と東アジア 第10章 近世ヨーロッパの形成と展開 1. ルネサンスと宗教改革 2. 主権国家体制の成立 3. 激化する覇権競争 4. 近世ヨーロッパの社会と文化 第3部 諸地域の結合と変容 諸地域の結合と変容への問い 第11章 産業革命と大西洋革命 1. イギリスの産業革命 2. 南北アメリカの革命 3. フランス革命とナポレオン帝政	【知識・技能】 西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世のアジア諸地域の特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通し他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	10
	近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家 【知識及び技能】 自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家と近代民主主義社会の形成について、主体的に追究、解決しようとする態度を養い他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	第12章 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家 1. ウィーン体制と1848年の革命 2. 19世紀後半のヨーロッパとアメリカ 3. 19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化 第13章 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗 1. ヨーロッパの帝国主義 2. アメリカの帝国主義 3. 西アジアの改革運動 4. アフリカの分割と抵抗 5. インドの植民地化と民族運動 6. 東南アジアの植民地化と民族運動 7. 東アジアの国際関係の再編	【知識・技能】 自由主義とナショナリズムを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解し、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地味な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界市場の形成とアジア諸国の変容、世界分割の進展とナショナリズムの高まりについて理解し、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第一次世界大戦と諸地域 【知識及び技能】 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズム、世界恐慌、ファシズムなどを基に、第一次・第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦から第二次世界大戦までに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどを理解し、国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次・第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について理解し、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	第14章 第一次世界大戦と諸地域の変容 1. 第一次世界大戦 2. ヴェルサイユ体制と国際協調 3. アジアのナショナリズムの台頭 第15章 第二次世界大戦と戦後の国際秩序 1. 世界恐慌とファシズム 2. 満洲事変と日中戦争 3. 第二次世界大戦 4. 戦後の変革と冷戦のはじまり	【知識・技能】 第一次・第二次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズム、ナショナリズム、世界恐慌、ファシズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 第一次・第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次・第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	冷戦と現代世界 【知識及び技能】 集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 紛争解決の取組と課題について、理解し、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	第4部 地球世界の課題 第16章 冷戦と現代世界 1. 冷戦下の安全保障体制 2. 脱植民地化と非同盟 3. 冷戦の終結と現代世界	【知識・技能】 集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 紛争解決の取組と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	10
	世界経済の展開 【知識及び技能】 先進国の経済成長と諸外国、諸地域の間の問題などを基に、格差は正の取組と課題を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因を読み解き、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 格差は正の課題と取組について、理解し他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	第17章 世界経済の展開 1. 冷戦と経済統合 2. 第三世界の経済 3. 産業構造と社会の変化 4. グローバル化と新自由主義の時代	【知識・技能】 先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差は正の取組と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 格差は正の課題と取組について、理解し他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究している。	○	○	○	10
	科学技術の時代と知識基盤社会 【知識及び技能】 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景などに着目し科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 知識基盤社会の展開と課題について主体的に追究、解決しようとする態度を養い、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	第18章 科学技術の時代と知識基盤社会 1. 地球環境の未来 2. バイオ・生命科学と私たちの生活 3. ICTの発達と情報社会 4. 知識基盤社会の形成 5. 科学技術と平和	【知識・技能】 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識基盤社会の展開と課題について主体的に追究、解決しようとする態度を養い我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	70
	定期考査			○	○		
							合計